

世界最高画質^{*1}と省エネの両立をPDP/LCDで実現

超・高効率 薄型ディスプレイパネルの開発について



高効率42v型PDP



高画質・高効率37v型LCD

2009 International CESに参考出展

当社は、プラズマディスプレイ（以下、PDP）と液晶ディスプレイ（以下、LCD）において、薄型テレビの更なる高画質と省エネをはじめとする環境性能の両立を可能にする、新たな薄型ディスプレイパネル技術を開発しました。

PDPでは（1）従来の3分の1^{*2}の低消費電力を実現する「高効率（発光効率3倍）^{*2}」42v型PDPと、（2）「超薄型8.8 mm^{*3}」で世界最高^{*4}フル動画解像度（1080本）を可能にした50v型PDPを、LCDでは（3）世界最少^{*5}90 kWh/年という驚異的な省エネルギーを実現し、かつPDPに迫る世界最高^{*6}の動画解像度1000本を実現する「高効率（透過率1.8倍（他方式比））」37v型LCDを、それぞれ新開発しました。

いずれも、テレビの基本性能である高画質化のいっそうの向上を図るとともに、人や地球環境にやさしい「eco技術」の取り組みを強化することで、世界最高画質^{*1}と、省エネ・薄型化など、環境性能の両立に成功しました。

当社は、これからの電子機器の必須要件となる「高性能／省エネ／低コスト」を実現する本開発品を、2009年1月8日（現地時間）から米国ネバダ州ラスベガス市で開催された「2009 International CES^{*7}」に参考出展しました。

一昨年、画期的な技術革新で次世代PDPの基幹技術となる「NeoPDP^{*8}」を開発し、2008年CESに出展しました。今回開発した新技術は、この「NeoPDP」技術を更に進化させ、放電ガスをはじめとする新たな材料開発や新駆動技術の開発などにより、PDPの進化をいっそう加速させるとともに、LCDにおいてもIPS パネルの優位特性を徹底的に追及し、LEDバックライトの採用と併せ、独自の「液晶駆動技術」を駆使することで「Neo」の開発コンセプトの具現化を果たすことができました。

当社は、薄型テレビの更なる進化成長を約束する意味からも、本開発品を、それぞれ「NeoPDP^{eco}」「NeoLCD^{eco}」^{*9}と称し、今後の商品化に向けた開発を加速させていきます。

*1：動画解像度において、2009年1月8日現在。動画解像度とは、動画像において、人の目で識別できる表示の細かさを定量的に本数で表すものです。（次世代PDP開発センター（APDC）測定方式）

*2：当社07年度機種（TH-42PZ750SK）比。

*3：2009年1月8日現在、PDPにおいて世界最薄（ガラス表面からの最薄部の厚さ）

*4：2009年1月8日現在。

*5：37型フルハイビジョンタイプの液晶テレビとして、2009年1月8日現在。「エネルギーの使用の合理化に関する法律」（省エネ法）で定められた液晶テレビの年間消費電力量の測定法に基づく（当社調べ）

*6：液晶テレビとして、2009年1月8日現在。

*7：2009年1月8日（木）～2009年1月11日（日）ラスベガスコンベンションセンターにて開催。

*8：2008年1月8日に開発発表した、（1）消費電力半減^{*2}の省電力型PDP、（2）フルフラットで厚さ24.7 mmの超薄型PDP、（3）150v型の超大型PDP。

*9：「NeoPDP^{eco}」「NeoLCD^{eco}」のecoは、e：（Environmentally Friendly）／c：（CO₂ Minimizing Manufacturing）／o：（Outperforming Technology）を表し、「優れた技術力でCO₂削減をはじめとする環境性能と高画質・高性能を両立する、人や地球にやさしいモノづくり」を意図したものの。